Engineer

用語集

このサイトで使う言葉を一行ずつ説明します。詳しい記事がある用語も紹介し、それぞれの定義を定める出典へのリンクを掲載しています。

このサイトは、自身の仕組みを公開して説明しています。クレジットにはすべての技術を挙げ、技術ノートではブラウザーの不具合を論じ、適合性の説明では条項番号を引用します。そのため、読み進めると、正確でありながら、なじみのない言葉に出会います。

以下では、それぞれを一行で説明します。要約は出発点であり、仕様こそが正しい定義であるため、名前から定義元へリンクしています。このサイトに詳しい記事がある場合は、その記事が開き、参考資料の最初に同じ出典を載せています。

ACME
人の操作なしで証明書を発行するプロトコル

Ansible
サーバーを文書で定めた状態にするツール

API
あるプログラムが別のプログラムを呼び出すための、仕様を定めた方法

ArcGIS
Esriの商用GISプラットフォーム

ARIA
支援技術に操作部品の名前を伝えるための追加のマークアップ

AWS
Amazonのクラウドプラットフォーム

axe
このサイトの監査に使うアクセシビリティ検査エンジン

Azure
Microsoftのクラウドプラットフォーム

Bash
多くのスクリプトが対象とするGNUのシェル

Bicep
インフラを宣言するためのAzure独自の言語

BigQuery
巨大なテーブルを検索・集計するGoogleのデータウェアハウス

CDN
読者の近くでコピーを配信するサーバー群

CI
変更を頻繁に統合し、そのたびに自動でビルドとテストを行う実践

CIDR
共通する先頭ビット数と開始アドレスでIPアドレスの範囲を表す方式

CLDR
言語と地域ごとの書式や並べ替えなどの慣習を記録したデータ群

Content Security Policy
ページで実行できるコードや、リソースの取得元・送信先をブラウザーへ指定する規則

Cookie
サーバーがブラウザーに送り、後の該当リクエストで返される名前と値の組

Core Web Vitals
実際の閲覧で読み込み、応答性、表示の安定性を測るGoogleの三つの指標

CORS
別のオリジンのページに応答を読ませてよいかを、サーバーがブラウザーへ伝える仕組み

cron
指定した時刻に、利用者のログインなしでコマンドを起動するUnixのサービス

CSRF
ブラウザーをだまし、利用者が意図しないリクエストを送らせる攻撃

CSS
ページの見た目を指定する言語

CTE

外側のクエリーからテーブルのように読める、名前付きのサブクエリー

CVE
公表された脆弱性一件ごとに共通のIDを付ける公開一覧

DevOps
ソフトウェアの開発と運用を結び付ける実践

DHCP
IPアドレスと設定を機器へ貸し出すプロトコル

Django
ウェブアプリを作るためのPythonフレームワーク

DNS
名前をアドレスへ変換するディレクトリー

Docker
プログラムを必要なものごと届けるための仕組み

DOM
ブラウザーがページから作る、動的なオブジェクトの木

ESLint
JavaScriptを規則に照らして調べるリンター

ETL
システム間でデータを移し、途中で形を整える処理

GDAL
地理空間データを読み、変換するライブラリー

Gemini
ハイパーテキストを配信する軽量インターネットプロトコル

gemtext
リンクを一行ずつ記すテキスト形式

GeoJSON
地理データをJSONで表す形式

GIS
地理データを保存・分析・描画する仕組み

Git
このサイトの履歴を保存するバージョン管理

GitHub
Gitリポジトリーを預かるMicrosoftのサービス

GitLab
自分のサーバーでも運用できるGit開発基盤

GitOps
Gitの宣言に実環境を継続的に合わせる運用手法

Gitフック
Gitの所定の処理時点で自動実行されるプログラム

Go
コンパイル型で、強い型付けと自動メモリー回収を持つ言語

Google Cloud
Googleが提供するクラウド基盤

Gopher
メニューからインターネットの文書を取得するプロトコル

Grafana
メトリクスやログを表示するダッシュボードツール

GraphQL
クライアントが取得するフィールドを選ぶクエリ言語

gRPC
HTTP/2で遠隔の手続きを呼び出すフレームワーク

hreflang
ページとその翻訳を対応付ける属性

HSTS
次回もHTTPSを使うとブラウザーが記憶する規則

HTML
ページの構造を記述する言語

HTTP
ウェブを成り立たせる要求と応答の規則

HTTPS
同じ要求と応答を、暗号化した接続でやり取りするHTTP

IPv6

128ビットのアドレスを使うInternet Protocolのバージョン

IPアドレス
パケットの配送先をネットワークに伝える数値

JavaScript
ブラウザーが実行するプログラミング言語

JSON
データの受け渡しで主に使われるテキスト形式

JSON Schema
JSONデータの構造を記述する言語

JWT
JSONでクレームを運ぶ、URLにも使えるコンパクトなトークン

Kubernetes
多数のコンテナーの稼働を維持するシステム

Leaflet
ブラウザーの地図に使う、小さなライブラリー

Lighthouse
速度、マークアップ、ベストプラクティスを監査するChromeのツール

Linux
大半のサーバーが利用するカーネル

macOS
Appleのデスクトップ用OS

Mapbox
地図のタイルとスタイルを提供する商用サービス

Markdown
少数の記号で書式を示すプレーンテキスト

NAT
ルーターを通るパケットのIPアドレスを書き換える仕組み

Next.js
WebアプリケーションをつくるためのReactフレームワーク

nginx
ウェブサーバー兼リバースプロキシ

OAuth
パスワードを渡さず、アプリに限られたアクセスを許す仕組み

onionサービス
Tor経由でのみ使えるアドレス

OpenAPI
HTTP APIを機械可読な形で記述する形式

OpenID Connect
OAuthの上にログイン用のID層を設ける標準

OpenTelemetry
特定ベンダーに依存せずテレメトリーを送る共通の仕組み

ORM
データベースのテーブルをコード内のオブジェクトに対応付けるライブラリー

PHP
以前からあるウェブの多くを動かす言語

Playwright
テストでブラウザーを操作するツール

Podman
デーモンを必要としないLinux向けコンテナエンジン

PostGIS
PostgreSQLで形状を扱えるようにする拡張機能

PostgreSQL
ここにある仕事の大半で基盤となったデータベース

Prometheus
メトリクスを定期的に取得して保存するデータベース

Python
このサイトのツール群の大半が使うプログラミング言語

QGIS
無償で使えるオープンソースのデスクトップGIS

RAID
複数のディスクを一つとして使い、通常は一台の故障に耐える仕組み

RBAC
個人に直接ではなく、ロールへ権限を付与するアクセス制御

Redis
一時的なデータをメモリーに保持するデータストア

REST
リソースを中心に組み立てる、ウェブのアーキテクチャー様式

robots.txt
クローラーに巡回しない場所を伝えるファイル

RSS
Atomより先に登場した、XMLによるフィード形式

Ruff
Python向けの高速なリンター兼フォーマッター

Rust
コンパイル時にメモリーの扱いを検査する言語

S.M.A.R.T.
ディスクに内蔵され、故障の兆候を知らせる自己診断機能

SEO
掲載料金を払わずにページを検索で見つけてもらいやすくする取り組み

SQL
リレーショナルデータベースを操作する言語

SQL Server
Microsoftのリレーショナルデータベース管理システム

SQLite
データベース全体を一つのファイルに収めるエンジン

SQLインジェクション
入力をSQLの構文の一部に変えてしまう攻撃

SSH
別のコンピューター上で使う、通信を暗号化したシェル

SSRF
攻撃者が選んだURLをサーバーに取得させる攻撃

Subresource Integrity

ブラウザーがファイルの内容を照合するためのハッシュ値

SVG
拡大縮小できるグラフィックスを描くXML言語

systemd
Linuxの起動と各サービスの開始を担う仕組み

Terraform
インフラをコードで定義し、変更を計画・適用するHashiCorpのツール

TLS
認証された暗号化接続を提供するプロトコル

Tor
ボランティアの中継ノード経由で通信を送るネットワーク

TypeScript
実行前に型を検査するJavaScriptの拡張言語

Ubuntu
サーバーでよく使われるLinuxディストリビューション

Unicode
一つ一つの文字に固有の番号を割り当てる標準

URL
資源の所在を示すアドレス

UTF-8
スカラー値を一〜四バイトで表すUnicodeの符号化方式

VPN
共通の通信基盤上で論理的に分離したネットワーク

WCAG 2.2
このサイトが目標とするウェブアクセシビリティ標準

WebAssembly
サンドボックス内で実行できる、移植可能なバイナリコード形式

Webhook
イベント発生時にサービスが送るHTTPリクエスト

WebP
非可逆圧縮と可逆圧縮に対応するラスター画像形式

↔ **WebSocket**
開いた接続を維持し、双方向に通信するプロトコル

WordPress
ウェブサイト用のオープンソースのコンテンツ管理システム

YAML
人が読んで手直しできる設定ファイルの形式

アーキテクチャ
システムの各部分の組み合わせ方と、その理由

アーキテクチャ決定記録
設計の選択とその理由を短く残す記録

アラート
人の対応が必要なときにシステムが送るメッセージ

カーネル
OSの中核となるプログラム

アクセシビリティ
障害のある人にとってのサイトの使いやすさ

アクセス制御
リソースを利用する要求を一件ずつ許可または拒否する仕組み

サーバーサイドレンダリング
リクエストごとにサーバーでページのHTMLを生成すること

サーバーレス
実行に使うサーバーを自分たちで管理せずにコードを動かす方式

サーバー送信イベント
HTTP経由でサーバーから一方向にイベントを送り続ける仕組み

サービスワーカー
ネットワークが使えないときもリクエストに応答できるスクリプト

サービスレベル目標
サービスが満たすべき、測定可能な信頼性の目標

アニメーション
時間の経過に沿って再生するページの見た目の変化

パーティショニング

一つのテーブルを物理的な部分に分けること

ハードウェア
コンピューターを構成する物理的な部品

ハードニング
攻撃者が悪用できるものを取り除く作業

アプリ
人が作業を行うために使うプログラム

イベントソーシング
状態を変更イベントの順序付きログとして保存する方式

イミュータブルインフラ
稼働中のサーバーを直接変更せず、置き換えて更新する運用

インシデント
システムのデータやサービスを危険にさらす出来事

インシデント対応
障害やセキュリティー事故に対して判断と対処を調整すること

インフラのコード化
版管理した定義ファイルからインフラを管理する手法

ウェブアプリマニフェスト
サイトをインストール可能なアプリとして記述するJSONファイル

ウェブコンポーネント
再利用できる独自のHTML要素を定義するブラウザー機能

ウェブサイト
共通の目的のためにまとめて公開する、関連するウェブページ群

ウェブブラウザー
ウェブページを開くために人が使うプログラム

ユーザー
システムの利用を許された人や、その人のために動くプロセス

ユーザーインターフェース
人が見たり操作したりするプログラムの部分

エラーバジェット
信頼性の目標がまだ許容する失敗の量

データウェアハウス
事業のデータを分析のために集めるデータベース

データベース
プログラムで問い合わせられるように整理したデータの保管場所

データベースインデックス
テーブル全体を走査せずに行を探すための構造

データベース正規化
各事実を対応するキーの下に一度だけ保存するテーブル設計

データストレージ
後で読み出せるようデータを保持すること、または保持する媒体

データセット
一まとまりとして公開されるデータの集まり

データメッシュ
ドメインの各チームが自分たちの分析用データを製品として提供する仕組み

データリネージ
データの出所・処理・行き先の記録

データレイク
元データを元の形のまま保管する場所

データ分析
パターンや傾向を見つけるためにデータを体系的に処理すること

デーモン
利用者の操作なしに、バックグラウンドで動き続けるプログラム

レート制限
一定時間内に一つのクライアントが送れるリクエスト数の上限

エンジニアリングの成果
技術的な取り組みによって確認できる変化

エンドツーエンドテスト
利用者と同じようにシステム全体を操作するテスト

コードベース
チームが一つのまとまりとして編集、レビュー、出荷するソースと関連ファイルの全体

コードレビュー
コードベースへ取り込む前に、作者以外が変更を読んで確認する工程

コード品質
コードが正しく動作し、理解や変更がしやすい度合い

オブザーバビリティ
システムが出すデータから、その動きを外から理解する能力

オペレーティングシステム
ほかのプログラムのためにハードウェアを管理するソフトウェア

ポート
ホスト内のサービスを選ぶための番号

ローカリゼーション
一つの市場の言語と慣習にソフトウェアを合わせること

ロードバランサー
リクエストを複数の別のサーバーへ分配するサーバー

カオスエンジニアリング
稼働中のシステムへ障害を制御下で注入し、耐えられるか実験する取り組み

カナリアリリース
新版を実際のトラフィックの一部で試し、段階的に広げる公開方法

キュー
ほかの処理が取り出せるよう、仕事を順番に待たせる仕組み

キャッシュ
元データのコピーを読み手の近くに置く保存領域

キャッシュ処理
結果を保存し、再利用の期限や検証・削除のルールを決めること

クエリー
データベースに答えを求めて書く問い合わせ

クローラー
ウェブのリンクを自動でたどり、ページを取得して一覧を広げるプログラム

クラウド
事業者の計算資源をネットワーク経由で必要に応じて借り、使用量に応じて支払う仕組み

クロスサイトスクリプティング
信頼できない入力をページへ埋め込み、サイト自身のコードとして実行させる攻撃

コネクションプール
開いたデータベース接続を再利用し、同時に利用できる接続数を制限する仕組み

コンテナーランタイム
コンテナーイメージから隔離されたプロセスを起動し、その実行を管理するソフトウェア

コントラクトテスト
コンポーネント間で合意したインターフェースの検証

コントラスト比
前景と背景の色の相対輝度を比べ、文字などの見分けやすさを判断する数値

コンピューターファイル
一つの単位として保存する、名前付きのデータのまとまり

サイトマップ
サイトのページを機械向けに列挙した一覧

シングルページアプリケーション
一つのページを読み込み、JavaScriptで書き換えるウェブアプリ

スタースキーマ
一つのファクトテーブルの周囲にディメンションテーブルを置く構成

スキーマ
一つのデータベース内で、テーブルなどを名前付きでまとめる領域

スケーラビリティー
負荷が増えたとき、マシンの追加だけで対応できる度合い

スクリーンリーダー
ページの内容を音声で読み上げたり、点字で提示したりするソフトウェア

スタイルシート
ページのCSSをまとめたファイル

セマンティックバージョニング
互換性を壊す変更をバージョン番号で示すための規則

ゼロトラスト

ネットワーク上の場所だけでは信頼を与えないセキュリティモデル

ソフトウェア
コンピューターで実行するプログラムと、それが扱うデータ

ソフトウェア開発のベストプラクティス
目的と適用条件が明確で、効果を確かめられる開発手法

ダウンタイム
利用者が必要なサービスを使えない時間

ダッシュボード
繰り返し生じる問いに答えるために構成した一つの画面

テスト駆動開発
コードより先に、小さなテストを一つずつ書く開発手法

デプロイ
変更を実際に利用される場所へ届けること

デプロイのロールバック
不具合のあるデプロイを取り消し以前の構成に戻すこと

トランザクション
データベースの変更を、すべて成功かすべて失敗として扱う単位

ネットワークサーバー
ネットワーク経由で他の相手にサービスを提供するコンピューターやプログラム

パイプライン
データを取得元から利用先へ運ぶ処理の流れ

パスワード
ログインする本人を確かめるための秘密の文字列

パッケージ
コードに説明を添え、インストールできる形にまとめたもの

バックアップ
消失に備えたデータのコピーと、その作成

バックエンド
利用者のブラウザーが読み込まない側のシステム

バリデーション

入力を信頼する前に規則に合うか確かめること

ビューポート
ウィンドウが実際に表示するページの範囲

ビジネスインテリジェンス
事業のデータを意思決定に役立つレポートへ変えること

ファイアウォール
どの通信を通すかを決める規則の集合

ファイルシステム
ディスクを名前付きのファイルとディレクトリーにする構造

ファビコン
ブラウザーがページのそばに表示する小さな画像

フィード
購読できる形式にしたページの更新情報

ブルーグリーンデプロイ
同じ構成の二つの環境の間で本番トラフィックを切り替える方法

フォージ
コードのリポジトリーと共同作業のための共有サーバー

フォント
ページが読み込むファイルに収めた書体

プロキシ
利用者に代わってリクエストを転送するサーバー

プログレッシブウェブアプリ
インストールしてアプリのように使えるウェブサイト

プログレッシブエンハンスメント
HTMLだけで使えるページを作り、後から機能を加える方法

プロトコル
プログラム同士が通信するために合意した規則

フロントエンド
システムの表示と操作を担当する部分

ベクトル検索
クエリーベクトルに最も近いベクトルを持つ保存済み項目の検索

ペネトレーションテスト
許可を得た攻撃で、どの欠陥を悪用できるか確かめる試験

ヘルスチェック
サービスが正常に機能するかを自動で確かめる検査

ホスト
ネットワークに接続したコンピューター

ポストモーテム
再発防止のためにインシデントを振り返る文書

ボタン
押すことで操作を実行する部品

マイクロサービス
個別にデプロイできる小さなサービスに分ける設計

マテリアライズドビュー
クエリー結果をテーブルのように保存するビュー

メタデータ
ほかのデータを説明し、見つけられるようにするデータ

メトリクス
システムが自身について報告する数値

ユニットテスト
コードの小さな一部分を単独で確かめる自動テスト

ライブラリー
ほかのプログラムから呼べるように、まとめたコード

ランドマーク
スクリーンリーダーで直接移動できるページ内の領域

ランブック
繰り返し行う運用作業の手順を確認できる文書

リバースプロキシ
ウェブサービスに代わってリクエストを受けるサーバー

リファクタリング
外部から見た動作を変えず、コードの構造を変えること

リポジトリー

ファイル群の各バージョンを記録して保持する場所

リンター
コードを実行せず、間違いらしい箇所を指摘するツール

レイテンシー
要求を送ってから、応答が届き始めるまでの待ち時間

レスポンシブデザイン
表示する画面に合わせて変化するレイアウト

レプリケーション
別のサーバーにデータベースの複製を置き、変更を反映する仕組み

ログ記録
起きたことを、その都度書き残すこと

暗号化
鍵なしではデータを読み取れないようにすること

移行
新しいバージョンやプラットフォームへ計画的に移すこと

運用シークレット
プログラムの動作に必要な鍵やパスワードなどの認証情報

仮想マシン
物理ホスト上のソフトウェアで動くコンピューター一式

回帰テスト
変更によって既存の動作が損なわれていないかの確認

完成の定義
プロダクトの作業が完成したと判断するための共通品質基準

監視
稼働中のシステムを見守り、利用者より先に異常を知らせること

機械学習
データの例から課題の解き方を学ぶソフトウェアを作ること

機能フラグ
再ビルドせずにコードの有効・無効を切り替えるスイッチ

技術リーダーシップ
技術の方向を定め、判断を任せ、その結果から学ぶこと

技術的負債
今選んだ近道が将来の変更に生む追加コスト

継続的デリバリー
必要なときに安全にリリースできる状態を保つこと

欠陥
製品が要件を満たすのを妨げる不備

検索拡張生成
質問ごとに取得した文書を基に回答を生成する手法

権限
システムが人やプロセスに与える操作上の権利

構造化データ
ページの事実を機械が読める形で記述したデータ

高可用性
一部が故障してもサービスを動かし続ける能力

国際化
容易にローカライズできるようソフトウェアを設計すること

災害復旧
大きな損失の後、検証済みの計画でサービスを戻すこと

指数バックオフ
失敗のたびに一定の倍率で延ばす再試行までの待ち時間

受け入れ基準
個々の変更を受け入れるために満たすべき条件

情報セキュリティ
データとシステムを不正利用や被害から守る取り組み

正規URL
検索エンジンなどに正本として扱うよう求めるページのURL

正規表現
文字列が一致する条件を表すパターン

静的サイトジェネレーター
すべてのページを事前にファイルとして書き出すプログラム

設定

プログラムが特定の環境でどう動くかを決めるため、ソースコードの外から読み取る値や指定

全文検索
文書の単語で探し、関連度の順に並べる検索

多要素認証
異なる種類の証拠を二つ以上求めるログイン

大規模言語モデル
文章で訓練し、次のトークンを予測するニューラルネットワーク

地理空間
地球上のどこにあるかが意味に関わるデータ

遅延読み込み
初めて必要になるまで、読み込みを待つこと

電子メール
インターネットを介してメールボックス間で送るメール

認証
要求が、その名乗る相手から来たものであることの証明

品質ゲート
コードを次の段階へ進める前に合格が必要な、一連の検査

負荷テスト
模擬的な通信を受けるシステムの動作を測るテスト

変更データキャプチャ
データベースの変更を読み取り、他のシステムへ伝える仕組み

変更のリードタイム
変更をコミットしてから本番にデプロイするまでの時間

目標復旧時間
障害の発生からサービスを再開するまでの目標時間

目標復旧時点
障害時に失ってもよいデータの期間の上限

冪等
何度実行しても、意図した効果が一度の実行と同じであること

共通の語彙をつくる

共通の語彙があると、技術的な選択について話し合いやすくなります。

サービスを見る お問い合わせ →

用語から根拠をたどる

ツールを選ぶ前に、用語から解説、一次資料、関連実績をたどってください。

事例 お問い合わせ →

用語の背後にある選択を明確にする

提案書にある言葉のうち、必要な判断に影響するものをお知らせください。

料金を見る お問い合わせ →

実務への影響を相談する

技術的な選択肢が組織に何をもたらすか、分かりやすく整理するお手伝いをします。

サービスを見る

welcome@engineer.company +45 50 10 61 84 デンマーク、コペンハーゲン

このページを持ち歩く

連絡先カード

心を込めて丁寧に制作： D.

CVR 45969703 · Tagensvej 105C, 3. th, 2200 København N

著作権 © 2025 – 現在 · Engineer ApS · すべての権利を留保します。

印刷元： https://daryna.engineer.company/ja/glossary/